【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成25年3月21日(2013.3.21)

【公表番号】特表2011-500433(P2011-500433A)
【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)
【年通号数】公開・登録公報2011-001
【出願番号】特願2010-530456(P2010-530456)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｔ　13/74　(2006.01)
Ｆ１６Ｄ　65/18　(2006.01)
Ｂ６０Ｔ　8/17　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｔ　13/74　Ｚ
Ｆ１６Ｄ　65/18　Ａ
Ｂ６０Ｔ　8/17　Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成25年1月31日(2013.1.31)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１２】
制御装置による作動ポイントの信頼でき、かつ強健な（robust）検知は、異常な電流計上の場合であっても作動することができ、かつ、次のステップを有する好ましい方法によって実行することができる：
－　第１の微分係数用の正の微分係数しきい値の画定、
－　直流モータによって取りあげられた電流の第１の微分係数が、その微分係数しきい値より大きいか、または等しいかを判断するために、規定の、好ましくは通常の間隔で、直流モータのブレーキ作動動作のチェック、
－　第１の微分係数が、その微分係数しきい値より大きいか、または等しい場合に、可能性ある作動ポイントとして現在のブレーキシュー位置を表示すること、および第１の微分係数が、その微分係数しきい値より大きいか、または等しいかぎりでは、直流モータのさらなるブレーキ作動動作の間に、あらかじめ画定された増加値によってカウンタの増進に加えてカウンタをスタートすること、または、直流モータのさらなるブレーキ作動動作の間に、第１の微分係数が、再び微分係数しきい値以下に低下すると直ちに、カウンタをゼロにリセットすること、
－　カウンタが規定のカウンタしきい値を超過するかどうかをチェックすること、および
－　カウンタが規定のカウンタしきい値を超過する場合に、パーキングブレーキのそれぞれの作動のための実際の作動ポイントとして前記それぞれの表示された可能性のある作動ポイントの画定。